

資料編

■策定経過

年月日	会議等	主な内容
平成24年4月20日	第1回大野市自転車を活用した まちづくり検討委員会	委員会趣旨 自転車をとりまく環境について
平成24年5月31日	第2回大野市自転車を活用した まちづくり検討委員会	グループに分かれての議論 アンケート概要について
平成24年7月27日	第3回大野市自転車を活用した まちづくり検討委員会	グループに分かれての議論 ネットワーク路線の選定
平成24年10月5日	第4回大野市自転車を活用した まちづくり検討委員会	ネットワーク路線の選定 計画骨子について
平成25年1月11日	第5回大野市自転車を活用した まちづくり検討委員会	計画素案の内容について
平成25年2月1日 ～2月15日	パブリックコメント	計画についてパブリックコメント 手続きを実施
平成25年3月1日	第6回大野市自転車を活用した まちづくり検討委員会	パブリックコメントの意見と反映 計画書(案)について
平成25年3月26日	庁議	大野市自転車を活用したまちづく り計画承認
平成25年3月26日	策定	大野市自転車を活用したまちづく り計画策定

■検討委員会委員等

(敬称略、順不同)

選出区分	選出団体	氏名	備考
学識経験者	福井工業大学	和田章仁	委員長
福井県	大野警察署	乾雅之	
	奥越土木事務所	長谷川義則	
関係機関代表	大野市区長連合会	安川勲	副委員長
	大野市観光協会	広作謙治	
	大野商工会議所	森田雄大	
	大野市PTA連合会	杉田信悦	
	大野市自転車競技連盟	田中邦弘	
住民代表	一般公募市民	川村佳代子	
	一般公募市民	北川絵里奈	
大野市	建設部	佐子重夫	
	行政戦略課	加藤正幸	
	都市計画課	佐々木巖	
	観光振興課	米津源一	
	健康長寿課	井川鋭子	
	くらし環境課	佐々木清一	
	スポーツ課	長谷川幸雄	
アドバイザー			
国土交通省	道路局 環境安全課 道路交通安全対策室	吉田秀範	
	国土技術政策総合研究所 道路研究部道路研究室	小林寛	
	国土技術政策総合研究所 道路研究部道路研究室	山本彰	
福井工業大学	都市デザイン研究室	吉村朋矩	
事務局	大野市建設課		

■「自転車利用に関するアンケート調査」の概要

1. 調査方法

調査期間：平成24年6月11日（月）～平成24年6月30日（土）

調査対象：市内300世帯（住民基本台帳及び外国人登録者から地区ごとに無作為抽出）

調査方法：郵送による配布及び回収

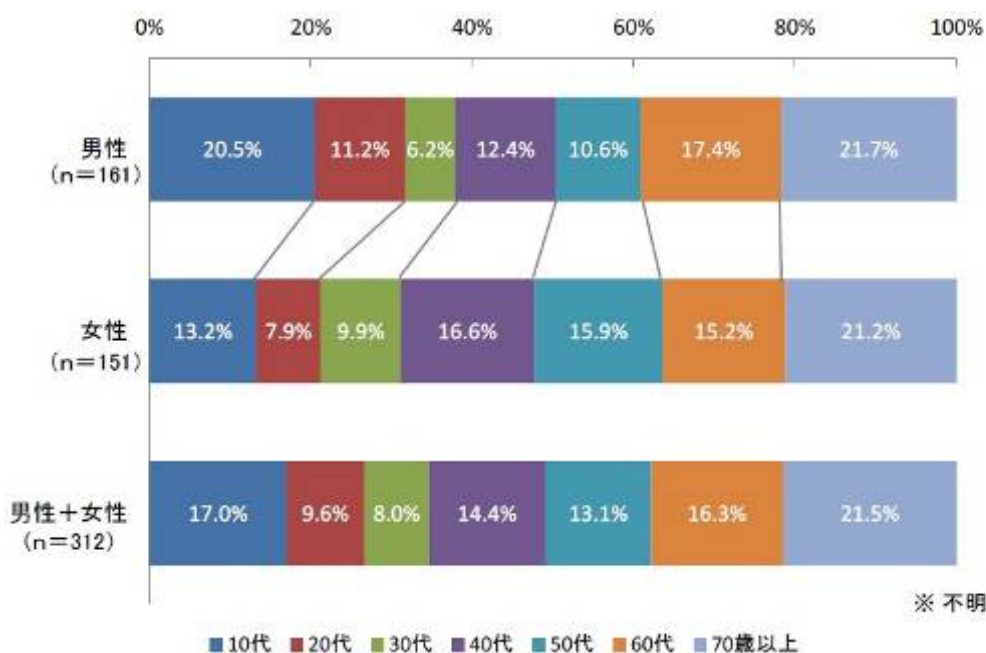
（配布数300世帯（1,078人）、回収数351人（回収率：32.6%））

2. 調査項目

- 属性（性別、年齢、職業、居住地区）
- 自転車の利用状況
 - ・利用できる自転車の有無
 - ・利用する理由、利用しない理由
 - ・自転車のイメージ
 - ・利用頻度、目的、移動時間
 - ・雨天時、冬期の利用
- 自転車利用のルールと事故
 - ・事故や危険を感じた経験
 - ・交通ルールの認知
- 自転車利用環境の改善
 - ・必要な改善策
 - ・自転車利用環境の問題点とその原因
- 自転車に関する自由意見

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
男性	33 (62.3%)	18 (60.0%)	10 (40.0%)	20 (44.4%)	17 (41.5%)	28 (54.9%)	35 (52.2%)	161 (51.6%)
女性	20 (37.7%)	12 (40.0%)	15 (60.0%)	25 (55.6%)	24 (58.5%)	23 (45.1%)	32 (47.8%)	151 (48.4%)
男性+女性	53 (100%)	30 (100%)	25 (100%)	45 (100%)	41 (100%)	51 (100%)	67 (100%)	312 (100%)

※ 不明を除いて集計

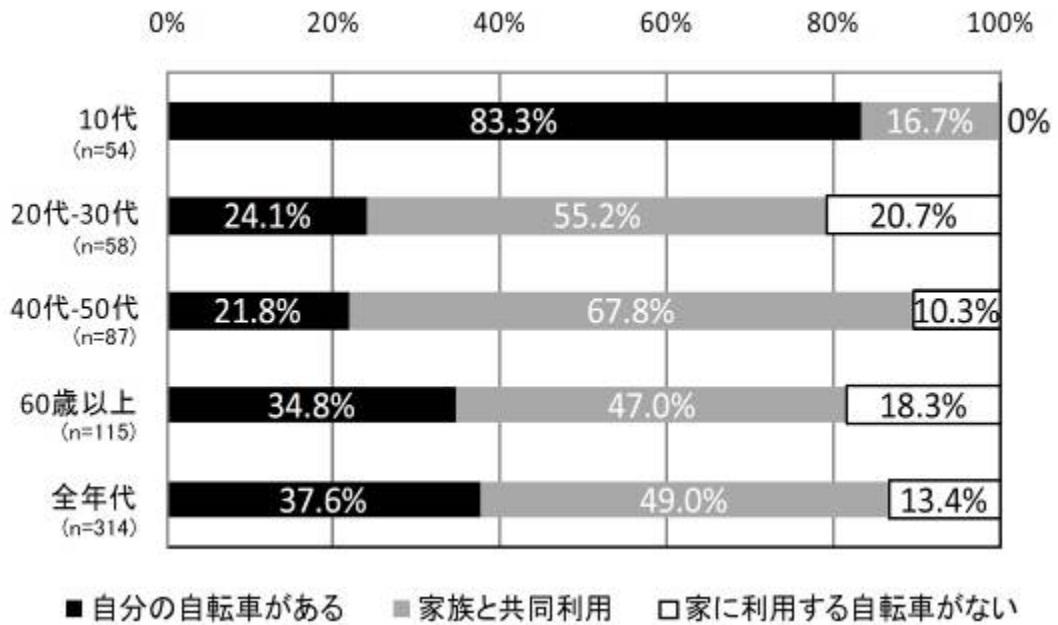
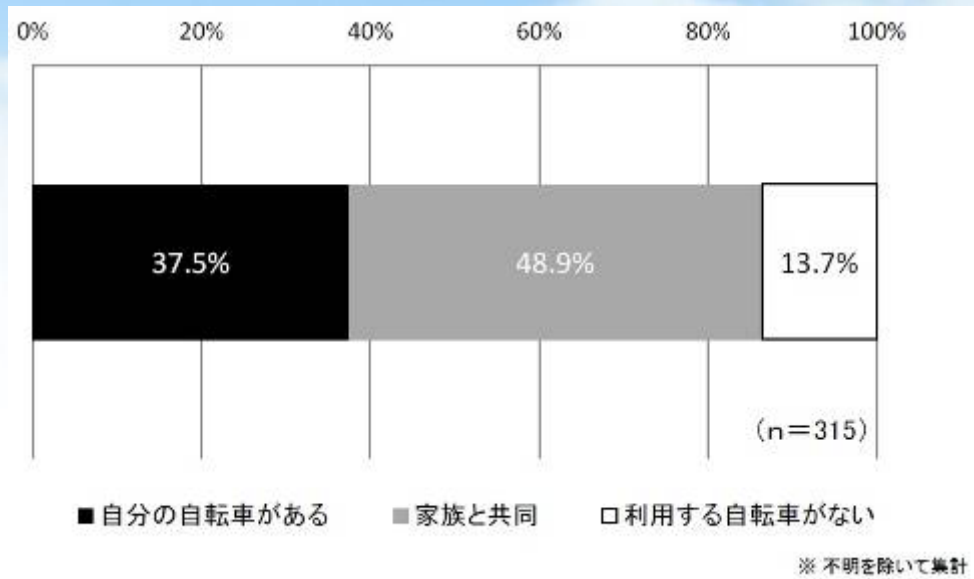


※ 不明を除いて集計

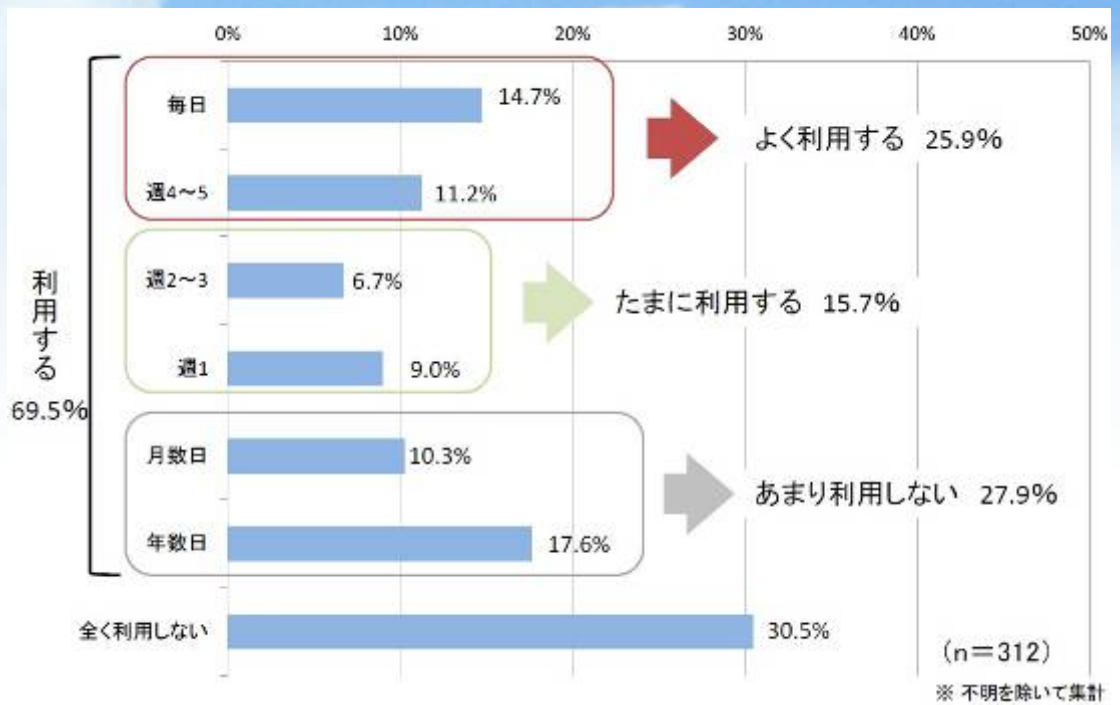
■ 性別における年代別の構成比

○自転車の利用状況について

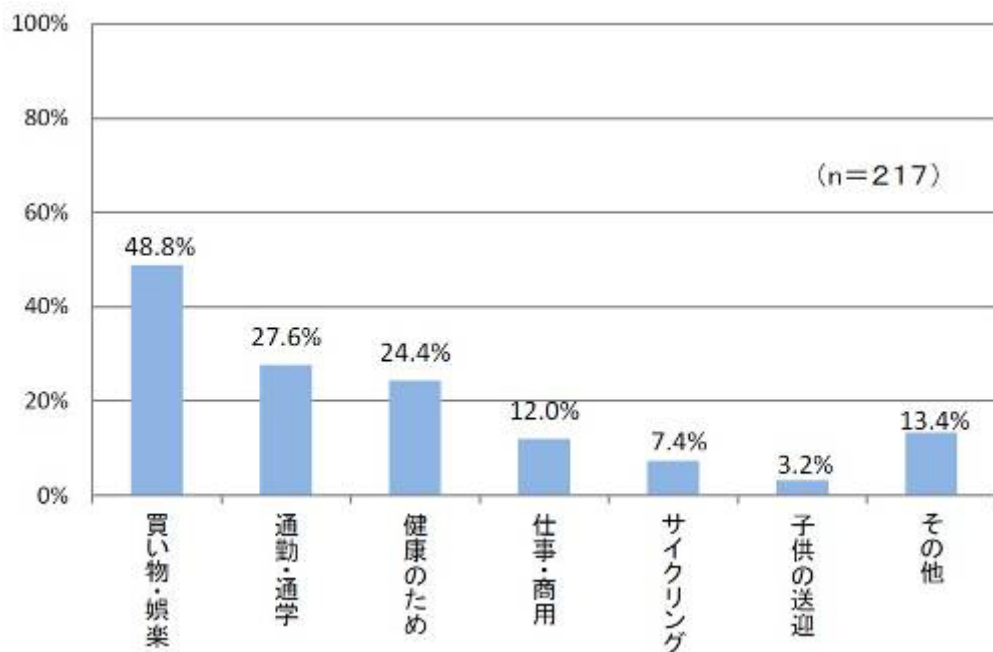
①あなたのご家庭で利用できる自転車は？



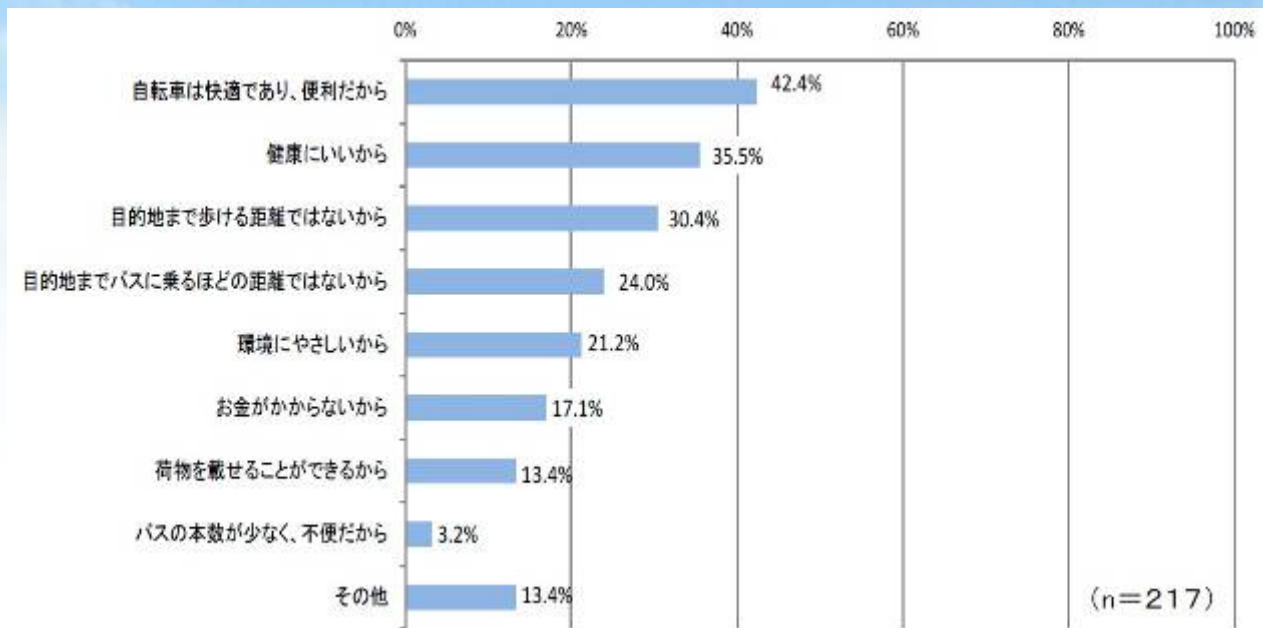
②あなたはどの程度自転車を利用しますか？



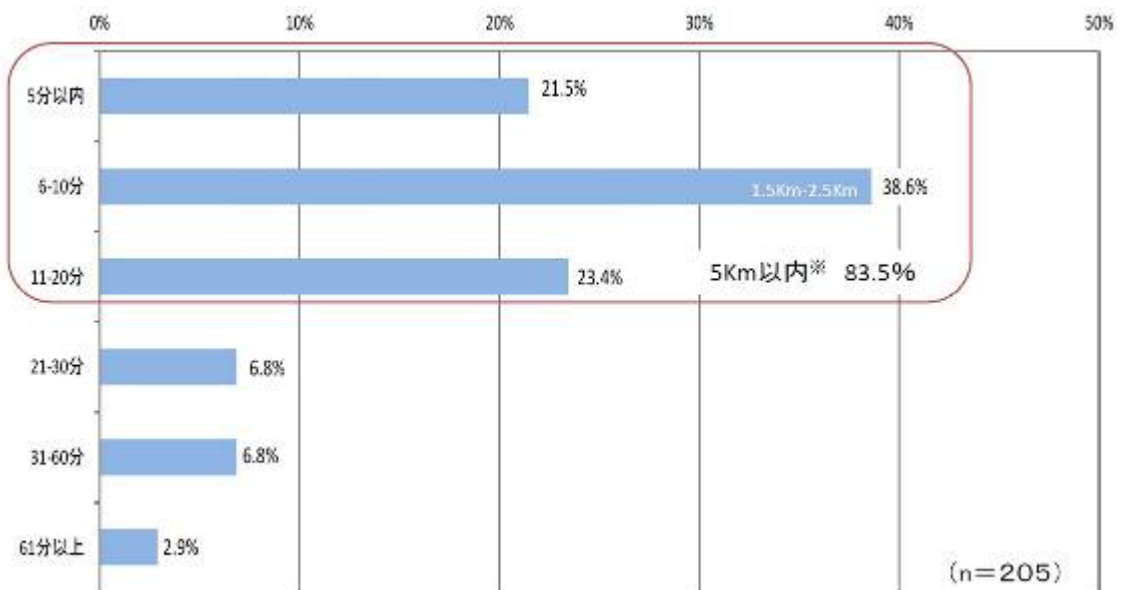
③自転車をどのような目的で利用されますか？（複数選択可）



④自転車を利用する理由は何ですか？（複数選択可）

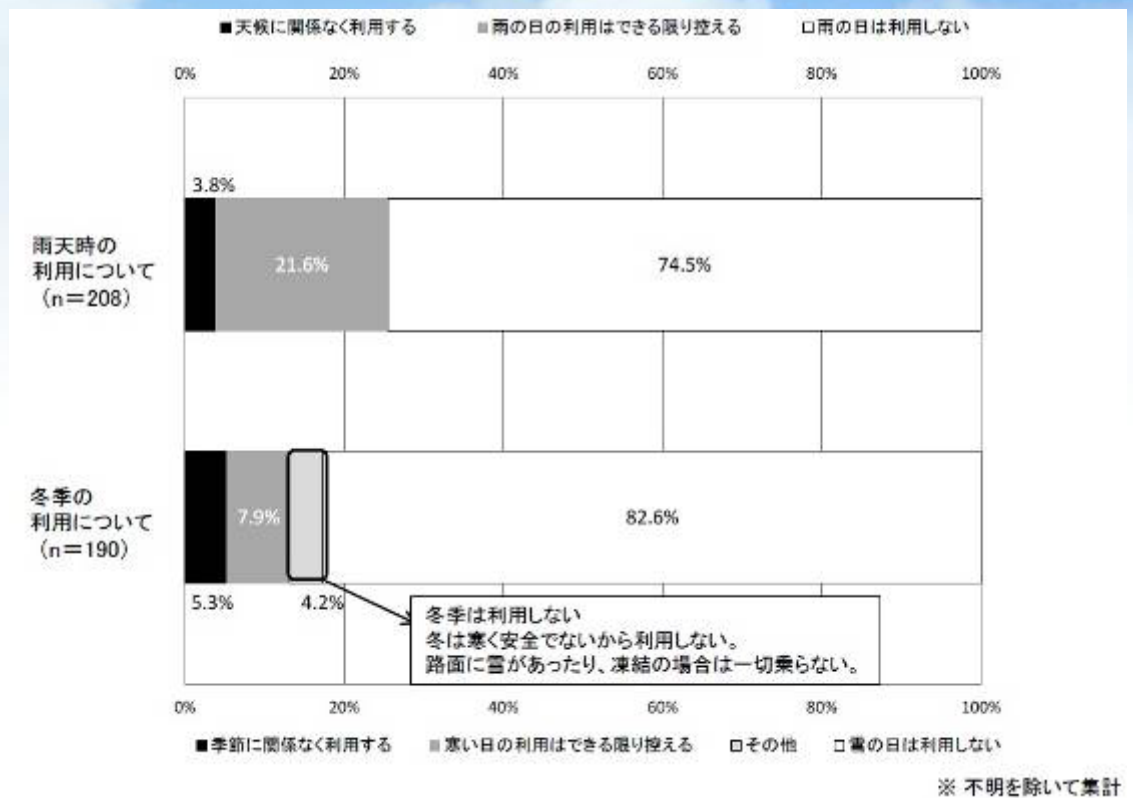


⑤ふだん自転車での移動時間はどれくらいですか？

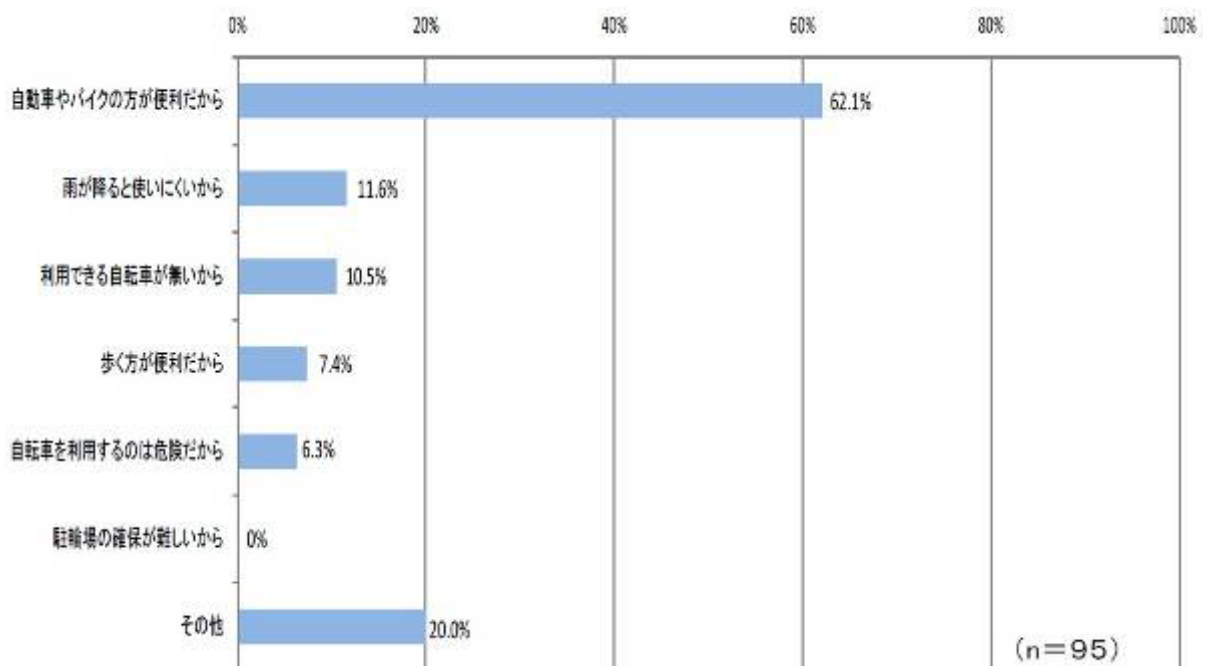


※ 国土交通省が示している自転車の速度である時速15kmを用いた場合

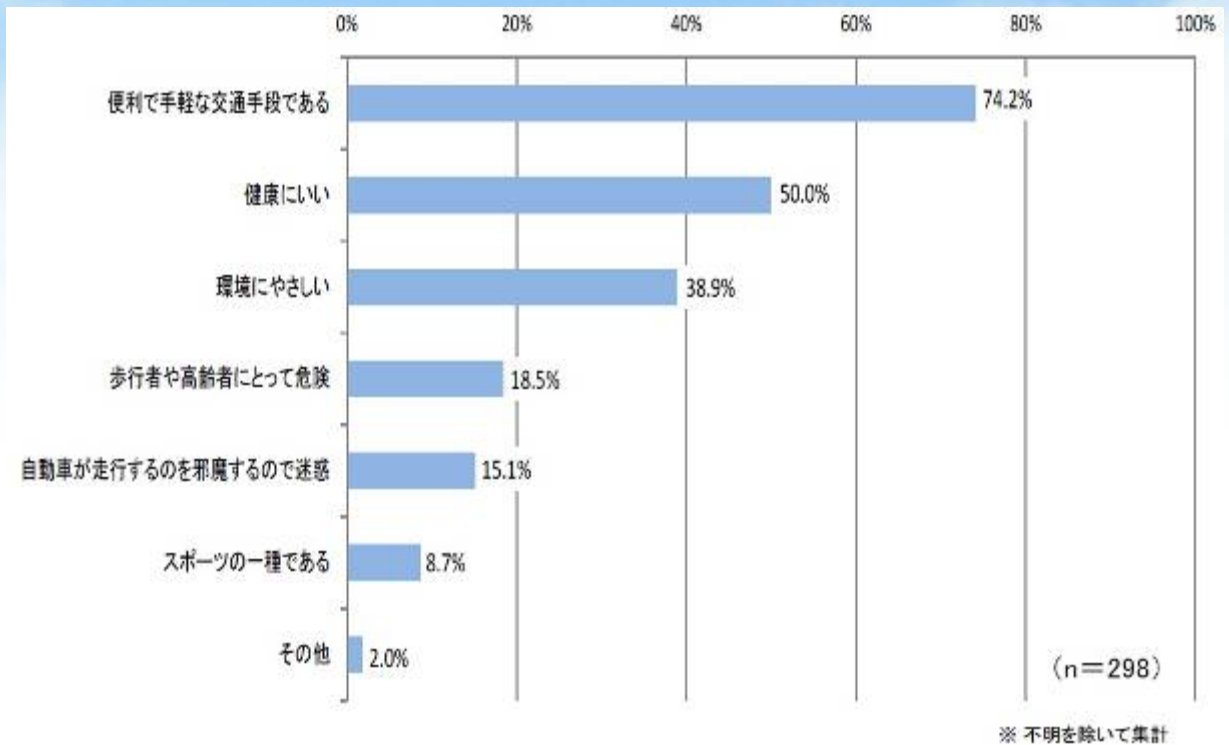
⑥雨の日や冬季の自転車利用について



⑦自転車をご利用にならない理由をお教えてください。(複数選択可)

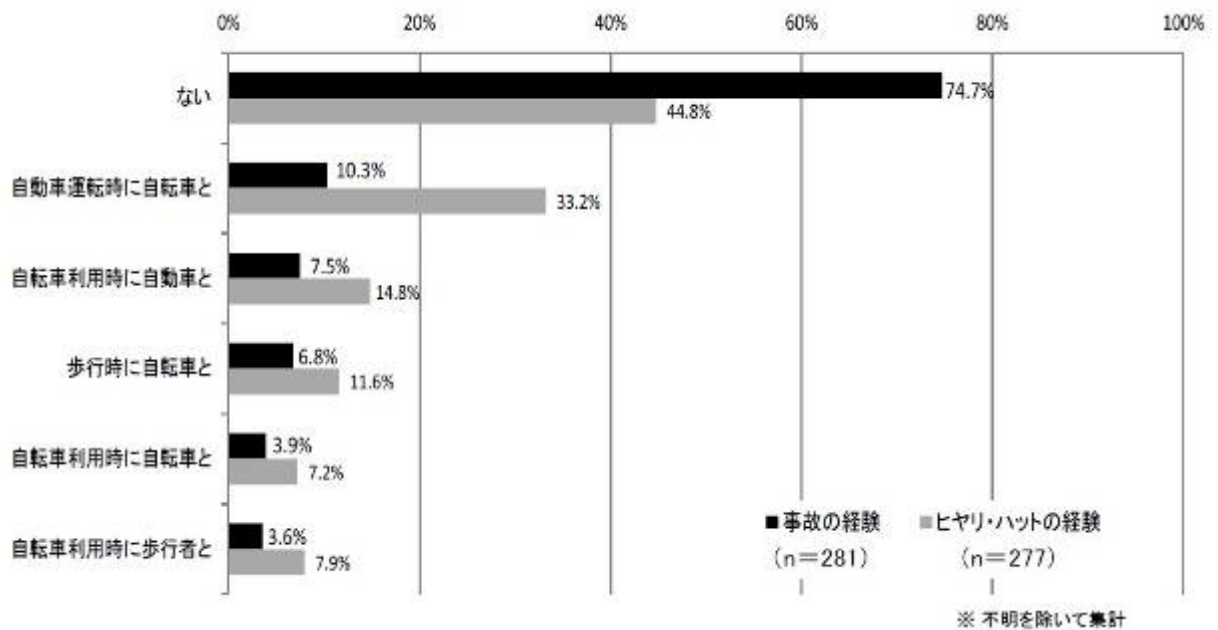


⑧自転車に対するイメージをおたずねします。(複数選択可)



○自転車利用のルールと事故について

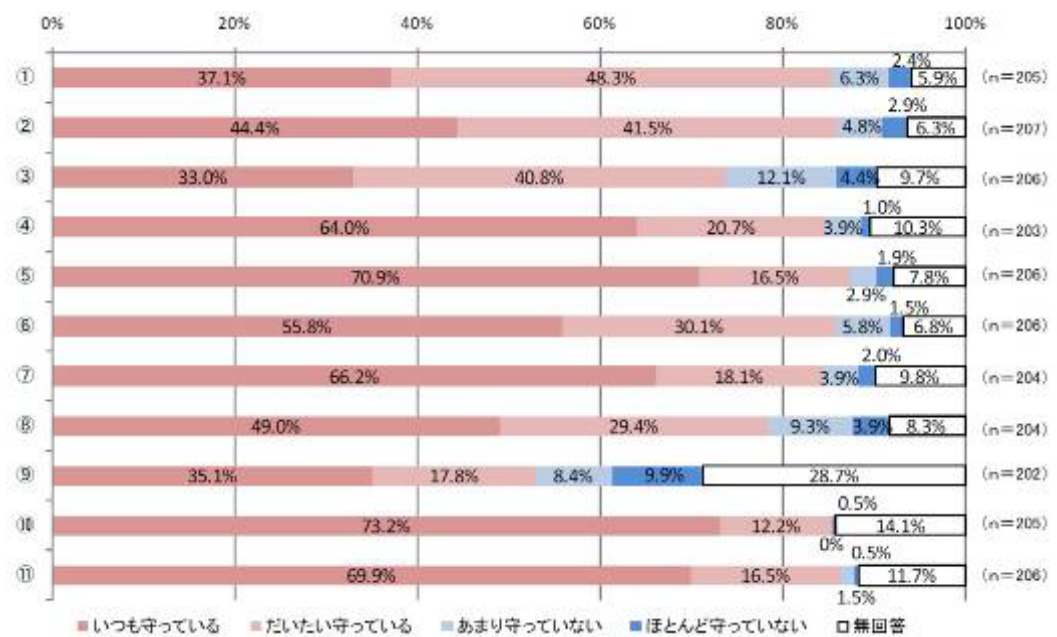
①今までに自転車に関係した事故(軽いものも含む)や「ヒヤリ」または「ハット」された経験はありますか？



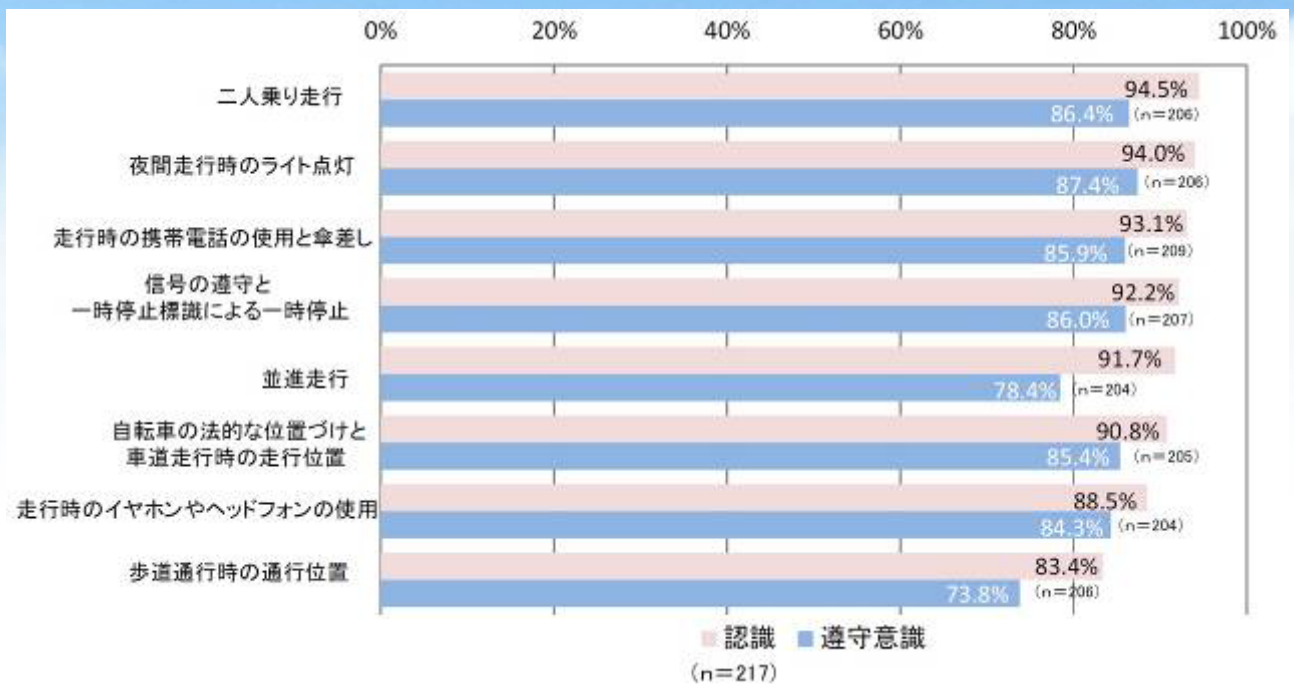
②次の自転車利用に関する交通ルールをご存知ですか。また、実際はルールを守っておられますか？



■ 交通ルールの認識状況



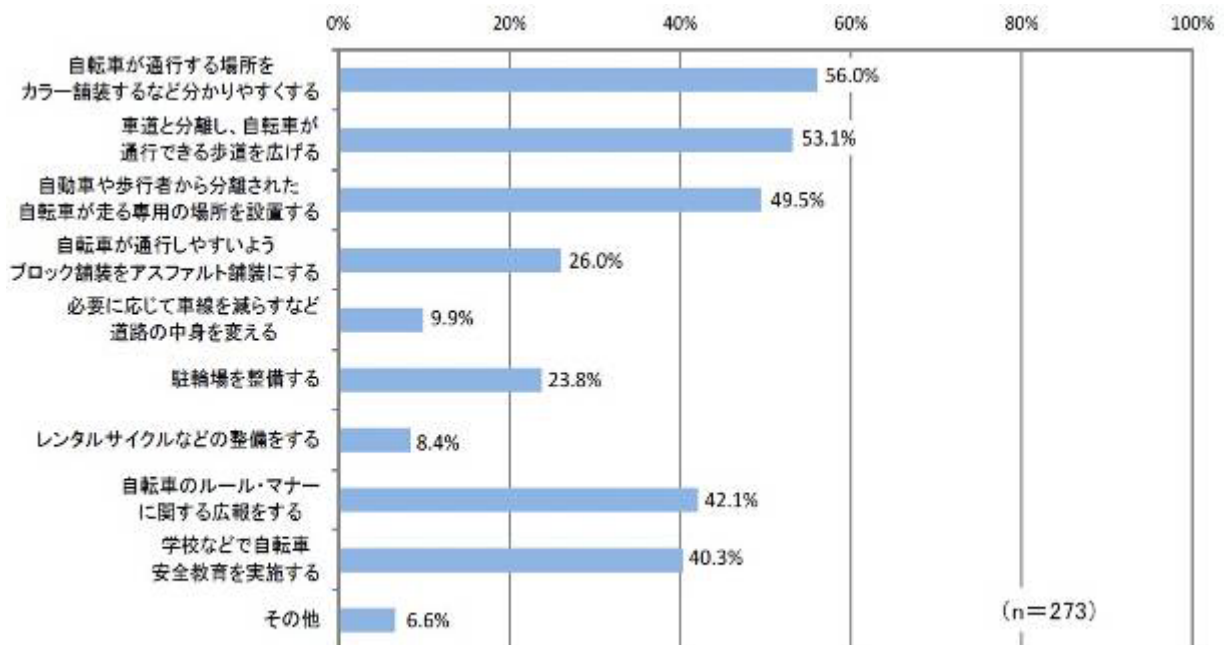
■ 交通ルールの遵守状況



■ 交通ルールの認識と遵守

○ 自転車利用環境の改善について

- ・ 自転車全般に関してどのような対策が必要だと思われますか？



※ 不明を除いて集計

○自転車に関する自由意見

■自転車利用に関する問題点

①ルールやマナーに関する項目

- ・若者や中高生の二人乗り、併進通行、信号無視、無灯火、携帯電話等の使用など
- ・中高生へのマナー教育を行う必要がある
- ・自動車の路上駐車を排除してほしい

②自転車通行空間などの整備に関する項目

- ・自転車レーンが少ない
- ・車道が狭い、道路の舗装が悪い
- ・スーパー等の自転車置き場の管理ができていない

③高齢者の自転車利用に関する項目

- ・高齢者はとっさの動作が遅く危険である
- ・高齢者は車道にはみ出して通行する

■自転車に関する意見・要望

①ルール・マナーに関する項目

- ・自転車の交通ルールを広く人に教えてほしい
- ・学校や高齢者の集会等で指導してほしい
- ・警察による取り締まりや指導をしてほしい

②自転車通行空間に関する項目

- ・道路の凸凹が危険なので整備してほしい
- ・歩道、自転車道を確保してほしい

③その他

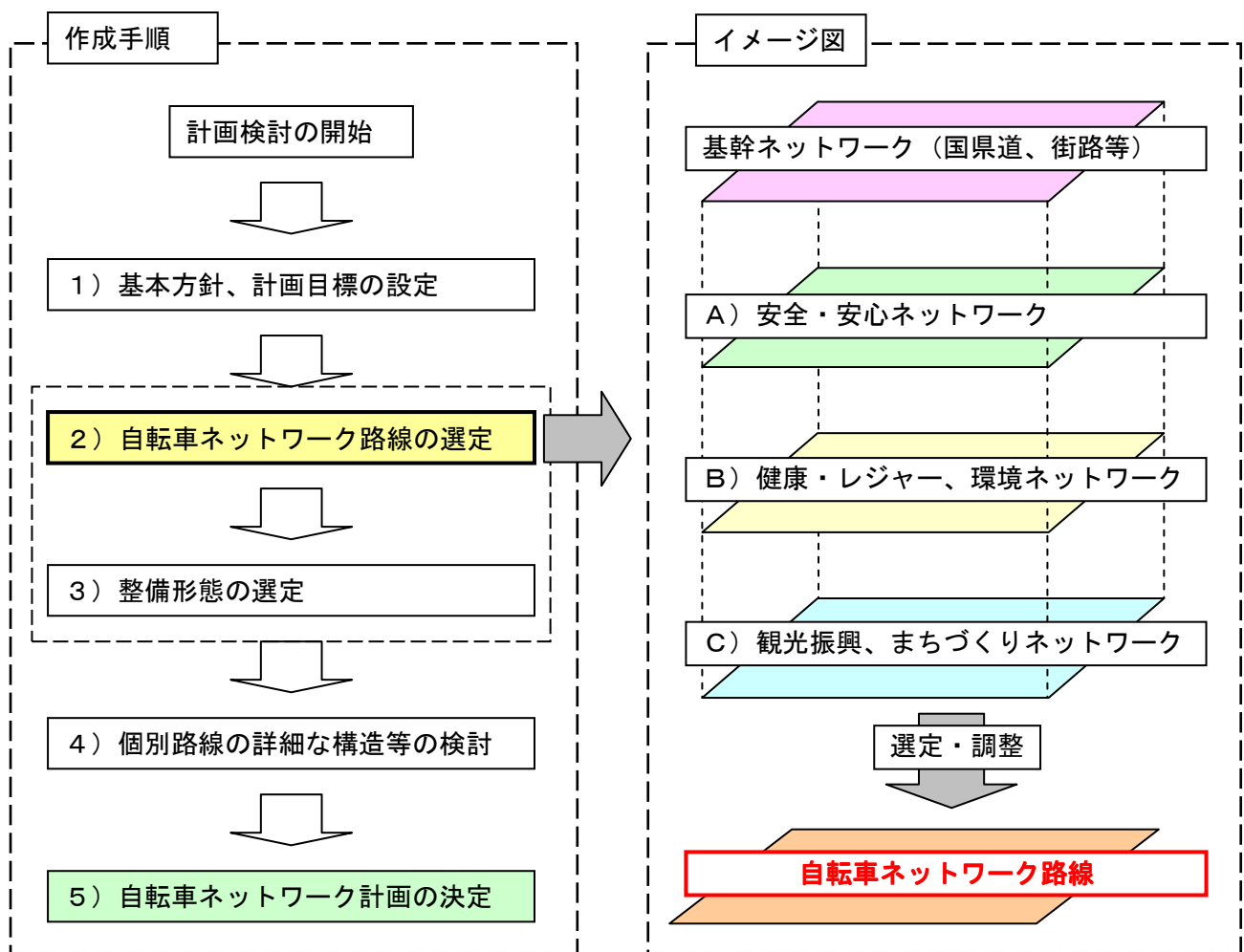
- ・整備不良の自転車が多いので、装置やライト等の最低水準のチェックを年に1～2回程度無料で受けられるとよい

■ 検討委員会委員によるワークショップの概要

本計画の策定時において、検討委員会の委員によるワークショップを行い、大野市における自転車利用の現況、及び自転車通行空間整備に向けた意見を集約し、自転車通行空間ネットワークについて検討しました。

ワークショップの流れは、以下のとおりです。また、グループ検討は、以下の3つのグループに分かれて検討しました。

- A) 安全・安心ネットワーク
- B) 健康・レジャー、環境ネットワーク
- C) 観光振興、まちづくりネットワーク



◆自転車ネットワーク路線の選定イメージ図

Aグループ（安全・安心ネットワークグループ）

<現況の自転車利用環境の問題・課題>

- 現状は、自転車優先の道路がない
- 安全安心が基本
- 道路利用者（歩行者、自転車、自動車）のルールの徹底が重要
- 小・中学生、高校生への交通安全教育が重要（特に高校生のマナー低下への対応が必要）
- 市民アンケートでは、具体的な危険個所の抽出が必要

<整備に向けた意見>

- 大野高校、奥越明成高校など自転車利用者の主要地点のネットワーク化
- 連続性を重視したつながりのある自転車ネットワークの整備
- 自動車交通の多い幹線道路及び自動車交通の少ない細街路を活かしたネットワーク化

Bグループ（健康・レジャー、環境ネットワークグループ）

<サイクリングコースの整備に関する意見>

- コース設定には、観光地や目的地が必要（例：ふれあい公園、中島公園など）
- 利用者の体力に応じて選択できる複数のコースが必要
 - 初心者：自動車交通量が少なく、平坦なコース
 - 上級者：アップダウンのあるコース
- ⇒真名川憩いの島をスタート地点とする体力に応じた初級、中級、上級コースを選定
- 真名川河川敷をシンボリックなサイクリングコースとして整備
 - 河川敷には、駐車場、自転車練習場を整備
- コースには、必要に応じてトイレの整備を検討

Cグループ（観光振興、まちづくりネットワークグループ）

<現況の観光客の自転車利用に関する意見>

- まちなか観光では、観光客は徒歩が中心となり、自転車を利用する人は少ない
- レンタサイクルがあるが、PR不足で観光客の利用はほとんどない
- 自転車はまちなかの散策では必要性は低い、イトヨの里など少し離れた場所に行くには便利

<観光客の自転車利用促進に関する意見>

- 自転車利用環境として、市内の観光地及び自動車、JR を利用する観光客を考慮した駅や駐車場に駐輪場の設置が必要
- 大人用と子供用のレンタサイクルの整備の検討
- 自転車レーンの路面表示の色彩は、景観への配慮や観光の観点など多角的な検討が必要
- ソフト対策として、自転車の所要時間を掲載した観光マップの作成

■パブリックコメント（意見募集）の結果

【実施時期】 平成25年2月1日（金）から平成25年2月15日（金）

【意見提出者数】 1団体、2人

【意見数】 5件

【意見提出方法】 電子メール：1団体 書面の持参（公民館持参含む）：2人

郵便：0 ファクシミリ：0 その他：0

【意見に対する反映度】 計画の修正・追加：2件 今後の参考：1件 盛り込み済：2件

No.	項目	意見の概要	市の考え方
1	現状と課題	<p>自転車通行空間整備の方向性について、自転車歩行者道を「自転車通行空間」と呼び、図に示すように「整備済み」と認識することは誤りではないか。</p> <p>また、すでに市道駅東線の自転車レーンに青色のカラー化が施されているが、道路標示の白線等は自転車が走る上では危険なものであるため、ペイントは最小限にとどめることが望ましいのではないか。</p>	<p>自転車歩行者道は、普通自転車通行可の指定のある歩道です。P.23の図は、今後自転車通行空間の整備を段階的に進めていくうえで、当面の期間の利用を考慮し、現在の指定状況を整理したものです。</p> <p>既存の自転車歩行者道が自転車通行空間として整備済みであると読み捉えられる文章になっていたため、文章を修正しました。</p> <p>（第3章(2)-⑦、第5章(2)）</p> <p>P.37の「分かりやすい標識や路面表示等の整備」において、自転車の通行位置を示す路面表示が自転車の安全性を低下させることがないように、滑りにくい路面表示材の使用を検討することを追加記載しました。</p> <p>また、カラー舗装の色彩についても、視認性の高さや、必要に応じて景観への配慮を検討するものとしています。</p> <p>（第6章(1)-④）</p>
2	自転車通行空間ネットワークの構築	<p>真名川河川敷サイクリングコースが、初級、中級、上級コースにあまり活かされていない。河川敷サイクリングコースを活用したルートを選定したほうがいいのではないか。</p>	<p>P.32からの「郊外ネットワーク」については、健康増進や観光レクリエーションとして、基本的なレベルに合わせたモデルコースとしてルートを設定しています。</p> <p>（第5章(1)）</p>
3		<p>真名川河川敷サイクリングコースの整備について、現在河川敷を使って活動している団体と事前協議をしてほしい。</p>	<p>P.32からの「郊外ネットワーク」において真名川河川敷サイクリングコースの整備について記載しています。今後、具体的な整備内容を考えるうえで、いただいたご意見は、検討項目の1つとします。</p> <p>（第5章(1)）</p>
4	計画推進のための自転車施策	<p>観光施設など各施設に駐輪場を設けるべきではないか。</p>	<p>P.36の「駐輪場の整備」で示したとおり、結ステーションや城下町東広場などに駐輪場を整備するとともに、観光施設に隣接した小規模な駐輪場の整備を進めます。</p> <p>（第6章(1)③）</p>
5		<p>放置自転車を処分する条例を定めて美化すべきではないか。</p>	<p>放置自転車は、景観を阻害する要因になるとともに、歩行者や緊急車用の通行の妨げになります。</p> <p>現在、大野市では路上に放置された自転車が問題になっている場所はありません。このため、早急に条例を定める必要性は低いと考えています。</p> <p>ただし、自転車の管理マナーは重要ですので、P.40に「⑥放置自転車対策の実施」を追加し、駐輪場の整備を進めるとともに、自転車の管理マナーに関する広報、周知活動を行うことを記載しました。</p> <p>（第6章(2)⑥）</p>